



心豊かな三小の子に

○やさしい子 ○進んでとりくむ子 ○考える子 ○元気な子

「当たり前のことが当たり前ができる学校」「見える学校、話ができる学校」を目指して

確かな学力の育成

カリキュラム・マネジメントの確立

- ・教科等横断的な学習を充実させ、学習効果を最大限に高める。

授業改善の推進

- ・週案簿の充実による教員の授業力の向上を図る（単位時間のねらいと学習活動、留意事項を明記する）
- ・指導と評価の一体化を推進する。

育成する目標の明確化

- ・「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3本柱を意識する。

個に応じた指導の充実

- ・ICT 機器等の活用による児童の学習意欲の向上を図る。
- ・少人数習熟度別指導の指導法を一層工夫する。
- ・定期的な補習教室やサポート教室を実施して学習が遅れがちな児童を支援する。

豊かな人間性の確立

人権教育の充実

- ・児童が偏見や差別をもった見方や考え方をしない指導を徹底することで、いじめの未然防止を図る。
- ・言語環境を整え、正しい言葉遣いと「あいさつ」の励行を推進する。
- ・「三小のきまり」や月別の生活目標をスタンダードにして、全教職員が同じスタンスで指導にあたる。
- ・現場主義と組織対応を充実する。

道徳教育の推進

- ・価値観の異なる友達と話し合う活動を充実させ、児童自らが自分の考え方を深めることができる「考える道徳・議論する道徳」を推進する。

話し合い活動の充実

- ・各学級年間10～15時間以上学級会を実施しコミュニケーションを取ろうとする態度と技能を育成する。

特色ある教育活動

校内研究の充実

- ・都や市の研究指定校として校内研究を充実させ、教員の授業力向上を図る。

特別支援教育の推進

- ・「こすもす教室」の活用及び校内の支援の充実を図る。
- ・関係機関との連携を図り障害理解教育を推進する。

安全教育の推進

- ・自分の身を守る意識の向上を図る。
- ・避難訓練を工夫する。

地域の特色を生かした小中連携

- ・「SDGs」の取組を通して持続可能な社会づくりのために必要な能力や態度を育成する。

働き方改革の推進

- ・教員の意識改革を図る。

家庭・地域との連携

開かれた学校づくり

- ・年5回の学校公開
- ・保護者及び地域の方々の意見を生かした学校経営

地域の教育資源の活用

- ・児童が地域の自然や文化・伝統等について学ぶ機会を設定し、国分寺の豊かな環境を保全していこうとする心情や地域に対する愛着の心を育成する。

情報発信

- ・月1回以上学級・専科便りを発行する
- ・ブログを活用した週1回以上のタイムリーな情報発信を行う。